

もったいない地球財布は
再利用と地産地消を
すすめます



NEWS!

2017. 10 月

[発行] NPO 法人グリーンコンシューマー大阪ネットワーク ● 〒553-0006 大阪市福島区吉野 4-17-11 エコロジーラボ内
● 郵便振替 00920-8-154437 ● 年会費 1 口 2000 円(個人 1 口以上、学生半口以上、団体 3 口以上、賛助会員(会社)5 口以上)
● TEL&FAX: 06-6462-2775 ● 携帯: 090-8989-5182(代表山口) ● <http://www.geocities.jp/gconosaka/> ● gcon_osaka@yahoo.co.jp

2017天神祭ごみゼロ大作戦 ～南天満公園 1, 2 キロ～ 実施!

初めてのエコステーションは14か所、延べ835名のボランティアの力で
6, 2 tのごみを分別! 資源物は853kg! リユース食器4万食分!

祭りのときも 祭りの後も 来場者の協力でごみが捨てられないきれいな公園で気持ちいい

天神祭は、大阪天満宮の鉾流神事(951年)として千年の歴史があります。日本三大祭り(祇園祭、神田祭、天神祭)のひとつ。一番参拝客が多いのが天神祭で100万人を超えます。7月24、25日の2日、特に25日の奉納花火見物で大川沿いには、約1200店舗の露店が立ち並び、飲食をしながら楽しむお客さんでぎっしりの人波が深夜まで続きます。

飲食の使い捨て容器などのごみは、天満宮界隈と大川沿い全域で63トン!南天満公園エリアでは6.2トン。ごみの行方は、大阪市内のイベントの容器プラスチック等が混在し分別できていないごみは「産業廃棄物」となり、民間の焼却工場ですべて燃焼処分されます。

省エネ、再資源化分別は当たり前の世の中。どのイベントにも、主催者(排出者責任)によって、エコステーションが設置され、来場者が認識できれば、ごみでなく資源として再び資源に。缶、びん、ペットボトルの資源物は853kg。そして、リユース食器の一部導入では、露天商さんのご協力で4万食分を実施し、来年度に繋がる実験をしました。



さあ!分別を呼びかけようと意気込みを見せるボランティアのみなさん



7月24日早朝、花嶋実行委員長、岡見事務局長そしてボランティアリーダー、各環境NPOの事務局メンバーで「やるぞー!」(本部となった大阪自然環境保全協会事務所)



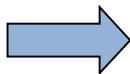
リユース食器に協力していただいた露店



河川敷公園は2.5km以上、ごみ全量は62.1トン
今回の実施エリアは、10分の1程度でした。しかし、市民にとって分別が普通の時代。市民発信、主催者、事業者、行政が協力し、仕組み・ルールがあれば、大規模でもできる確信を事務局の一員として持ちました。

論より証拠 こんなにきれいな公園が維持されました

2016年



天満橋近
くの公園
スロープ

2017年



公園内照明
器具



天神橋付近の
公園内道路



🍀この活動には、大阪市市民活動推進助成事業として助成金、協賛企業や個人からのご寄付、FAVVクラウドファンディングでの個人寄付、そして大阪府民環境会議はじめ、大阪ごみ減量推進会議、大阪ごみゼロネット、大阪びんリユース推進協議会、Rびんプロジェクト、WorudSeedが事務局を担いました。市民力を拓ける推進力として、大阪ボランティア協会や大阪市ボランティア・市民活動センターなど大きな力となりました。

🍀天神祭ごみゼロ実行委員会は、報告会を11月に予定しています。

🍀花嶋温子会長の大阪産業大学の花嶋ゼミ生が、7月25日に会場で実施した来場者へのヒアリングアンケートやごみ量の分析等の報告会になります。

🍀多くの方にご参加いただきたく、日程がきまり次第、大阪府民環境会議や当会ホームページ等でお知らせします。